

教宣 せぶん

体臭が染みついたレター

8月28日に RA関連「出退勤に関する規則」「勤怠管理ルール」の再徹底というレターが出ましたが、ご覧になりましたか？

「何をいまさら」という感が否めませんが、このレターの 2.RAの「休日出勤」「深夜労働」に関する再徹底 という項に、休日出勤については、RAから申し出があっても従来より認めない運用を行ってきたが、今後ともいかなる理由があろうとも休日出勤は認めない方針とする。合わせて、深夜労働（22時～翌朝5時）についても同様に認めない方針とするので、全RAに対してマネージャーより徹底願う。と書かれています。これは一体何なのでしょう？

これを読むと「RAが休日や時間外に仕事をするのがあったとしても、それは本人が勝手にやっていること」というニュアンスしか聞こえてきません。お客さんの都合で、「日曜日に手続きに来てくれ」「夜来てくれ」と言われることは、仕事の性格上、珍しくありません。そういう場合、顧客第一主義を掲げる当社は、私たちに顧客に対しどう答えろと指導するのでしょうか。会社の言っていることはあまりにも実務とかけ離れています。私たちの労働の実態を無視していると言えませぬ。また、直接入金（キャッシュレス）が始まった際には、土・日に金融機関が開いているところもあるので、入金できるものは入金して欲しいと会社から指導されたこともありましたし、日勤社時代と比べると有給取得時に会社から携帯電話にTELが入る機会が格段に増えています。顧客から入るTELを内務で処理しようとする体制・感覚はまったくなく、何でもかんでも私たちに丸投げしてきます。

そういった私たちの労働の実態や過去の経緯を覆してまで、こんなレターが出るウラには何があるのでしょうか？

考えられることは、このレターが第三者機関への「エクスキューズ」になっているのではないかということです。報告を求められることがあり、会社としては「こう徹底しています」「これに外れることがあるとすればそれはすべて個人が悪いのです」という会社としての免罪符をつくるためのレターの臭いがプンプンします。東海経営の官僚体質、「らしさ」があふれ出ているレターだと感じます。

誤っている「根本」を改めないで、悪いものは「個」に帰結させ、経営は「責任」もとらないし、「反省」もしない。まさに東海経営の悪臭が染みついたレターです。こんな体質の会社に明るい未来があるのでしょうか？